

31H 加茂野 こまち
35H 中田 聖

33H 西村 ひかる
35H 山本 拓希

33H 水口 碧波
36H 小田 光希

■課題

海のごみが増え続けている。

■解決策

海岸ごみで最も多いプラスチックを減らし、分解されやすい物質を使う。

■現状（課題の背景）

全国の海岸漂着物の回収量は 632 t /年（H28～30 年度）

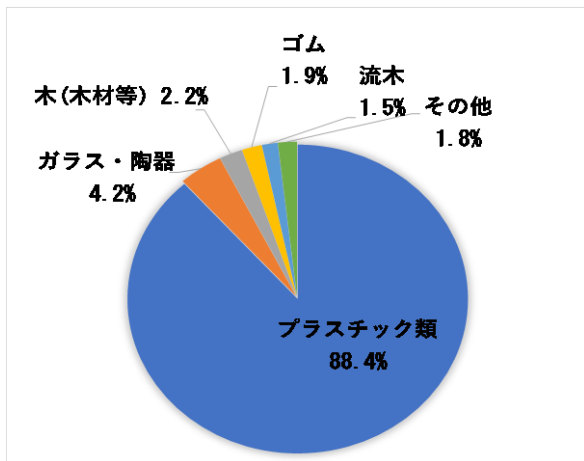


図1 石川県の海岸漂流物 <https://core.ac.uk/download/pdf/233245523.pdf>

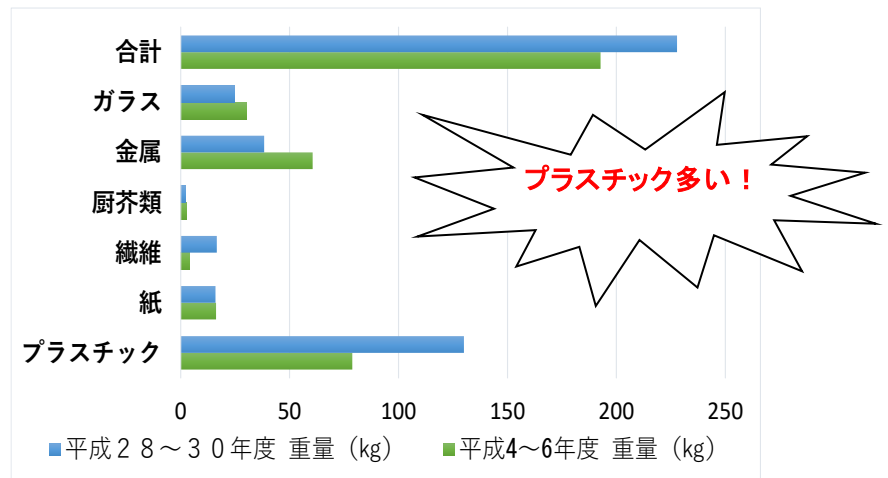


図2 過去と直近の海洋ごみの内訳（人口ごみ） <https://www.bikezaidan.or.jp/kaigangomi/kaigangomi4/>

- ・プラスチックごみの重量は人口ごみのなかで最も割合が高く、半数以上を占めている。
- ・ゴミの個数で見ても、プラスチックの割合が最も高く 88% も占めている。

■問題

・海の生命体に与える影響

マイクロプラスチックのような微量な粒子は、海洋生物の体内に取り込まれることで体内に蓄積し内部を傷つけ、海洋生物を殺してしまう。また海洋生物はごみに近寄り、ごみの蔭に集まる魚を食べようと、ごみが体にひっかかるとある。ごみの多くがプラスチック素材のため簡単にはずすことができず死に至ることがある。

・海の産業に与える影響

網漁具にゴミが絡まることで海洋生物がかからず、漁獲量が減る。

汚染された海は魅力がなく、マリンスポーツもできないため観光業での収入も減る。

■具体的内容

先進国を中心に、既製のバイオプラスチック製品を使い、プラスチック製品は最低限しか使わず、リサイクルする。

・バイオプラスチック製品

例) 食品容器包装 レジ袋 ゴミ収集袋 非食品容器包装
衣料繊維 電気・情報機器 など

・エコバッグを持ち歩く。

・再利用可能なコットンのマスクをつける。
・中古品を買う。 など



図3. ゴみの流出防止

<https://www.nhk.or.jp/gendai/articles/4516/images/02.jpg>

■効果

- ・埋め立て、投棄されても、微生物が食べて分解してくれるので、ごみとしてたまることがない
- ⇒川をつたって海に流れ出るごみを減らすことができる。
- ⇒海の中にいる生き物を守るすることができる。漁業への影響を減らすことができる！！

より魅力的な海に！！